



神戸国際大学 キリスト教センター通信 2024年5月14日 第110号



## これぞ神戸”国際”大学

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

このたび、フィリピン・マニラ首都圏ケソン市にある“Trinity University of Asia” TUA からお二人の訪問を受けました。副学長 Matilde Asuncion 氏と CUAC 担当 Dino Cantal Jr. 助教授で、TUA で開催される CUACASIA の ISLP (サービスマーケティングプログラム) のプレゼンテーションに来られたものです。

CUAC “Colleges and Universities of the Anglican communion” 聖公会大学) は、世界の聖公会の大学が加盟して聖公会キリスト教の教えに基づいた奉仕や教育などの活動を実践する集まりです。日本では聖公会の立教大学・聖路加国際大学・桃山学院大学などとともに KIU も CUAC の一員で、CUACASIA には日本、フィリピン、韓国、台湾などから聖公会学校が名を連ねます。

最近では SL (サービスマーケティング) をよく聞くようになりましたが「奉仕を通じた学び」といえばわかりやすいでしょうか。ボランティアなどの奉仕活動は学校でなくても自治体や団体などが主催して、一般の市民をはじめ学生・生徒など誰でも参加するものですが、奉仕活動は呼び掛けに応じて言われるままに活動するだけでなく、参加者自らが企画・立案から運営に至るそれぞれの場面において積極的に関わることで教育的な成果をあげて学びを深めることができます。

本学では2000年から2015年まで「ボランティア実習」という科目で、TUA で英語や文化を学ぶとともに、高齢者や児童の施設を訪問したり、地方の民家にホームステイしながら小学校を訪問して子供たちに文具をプレゼントしたりなどの活動 (IPSL: International Participant for Service and Learning) をするために学生を派遣してきました。

参加者のなかには卒業後もホームステイした家族を繰返し訪問して交流を続けたり、卒業後に国際機関などで仕事をすることを希望したりという学生がいたことから、国際大学の授業科目として成功したと思うと嬉しい限りです。

やがて本学も参加して新しい CUAC の ISLP がスタートします。このプログラムはボランティア活動の範疇には数えられますが、誰かが決めた奉仕活動ではなく PBL (課題解決型学習) つまり自らが社会課題を発見し、解決策を考えてこれを実践する科目です。従って、参加学生同士のディスカッションに必要なスキルは言うに及ばず、社会問題に関する極めて高い意識と自身の分析力や行動力が求められることとなります。

やがて KIU も参加して新しい CUAC の ISLP がスタートします。このプログラムはボランティア活動の範疇に数えられそうですが決められた奉仕活動ではなく PBL (課題解決型学習) つまり自ら社会課題を発見し、解決策を考えてこれを実践する科目です。



従って、参加学生同士のディスカッションに必要なスキルはもとより、社会問題に関する極めて高い意識と自身の分析力や行動力が求められることとなります。

本学ではフィリピンの地方の村からスタートした SL ですが、これからはさらに磨きをかけた PBL のプログラムに発展していくことでしょう。KIU の学生として明るい希望をもち、高い理想を掲げて参加する学生が増えることを心から期待しています。